

講座内容 教材の体験・作成・実践・振り返りのプロセスを経て、参加者自身が国際理解・開発教育の実践者になることを目指します。

全4回講座

第1回目

教材体験【7月23日(木)10:00~16:00】

1日通して、様々なワークショップを体験していただきます。

午前「世界がもし100人の村だったら」

午後 ①地球の食卓 ②「地球にやさしい」ってなんだろう? ※選択制:内容は下記参照

第2回目

教材作成①【8月8日(土)10:00~16:00】

参加型教材の実践例や教材作成ポイントを学びます。

座談会ではさまざまな校種の先生方と交流してお互いの学びを共有しましょう。

第3回目

教材作成②【8月9日(日)10:00~15:00】

ご自身オリジナルの参加型教材を作成していきます。

相談会では、教材作成するうえでのポイントやアドバイスをシェアします。

第4回目

実践発表【12月12日(土)10:00~16:00】

9月~11月に各自が学校や地域で実践した授業・教材の実践報告および意見交換を行います。

※ JICA沖縄図書資料室横の**民族衣装試着室**や**世界の楽器**にふれることができます。

※ 県内書店では購入できない**教材販売コーナー**を設けます。

7月23日 体験ワークショップ

※どちらかを選択し、応募用紙に記入してください。



①「写真で学ぼう! 地球の食卓」

写真を使って他国に住む人々を身近に感じながら、食を通して私たちの生活やこれからの社会のあり方を考えます。

キーワード: 食文化の多様性

関連教科: 家庭科、総合、社会 など

実践講師: 伊波 郁氏

(沖縄県平和祈念資料館職員(元高校教諭))

過去参加者の声

1枚の写真から食事、家族、環境、表情 色んなものを読み取ってストーリーを作ることができて、すごく世界が広がりました。ワークシートのゴールをどこに向かわせるかで教科、分野が多岐にわたるとか楽しかったです。

②「地球にやさしい」ってなんだろう?

身近な商品が開発の問題とつながっている、開発をとりまく人々の文化や価値観の違い、理想の衝突を体験する。

キーワード: 環境、開発、消費者

関連教科: 社会、道徳、総合 など

実践講師: 屋良 真弓氏 (南風原小学校教諭)

過去参加者の声

ロールプレイで役になりきるのでとても白熱した話し合いをすることができました。身の回りの製品や食品について見つめ直すことができ、今後何を基準に商品を購入するのか、といったところまで考えることができました。

募集要項

◆参加条件:

※授業で国際理解・開発教育もしくは関連活動を実践されている方、

これから挑戦してみたい方(学校教育現場以外でも実践場所がありましたら参加可能です。)

※参加多数の場合、全4回講座に参加可能な方が優先となります。

◆定員: 25名

◆会場: JICA沖縄センター (浦添市前田1143-1) ※ゆいレール「経塚駅」から徒歩5分
無料駐車場もあります。

◆申込〆切: 7月10日(金)

◆参加費: 無料

・ 交通費、食費、宿泊費の支給はございません。

・ 昼食はJICA沖縄のOIC食堂もご利用いただけます。

※予約制で食事代は自己負担となります。また、新型コロナの影響により食堂の利用ができない場合は、ケータリングでの提供となりますのでご了承ください。

◆応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、メール・FAX・Googleフォームにてお申込みください。

応募用紙とQRコードはチラシの裏面または沖縄NGOセンターのホームページよりダウンロードをお願いいたします。



学生ボランティアさん募集中!

教職を目指している方、
国際理解や協力活動に関心のある学生さん!

ボランティアとして関わってみませんか?

当日までの準備や打合せ、講座後の実施報告などのお手伝いをしていただく予定です。

プログラムによっては
講座・ワークショップ自体に参加可能です。

お気軽にお問合せください!



お申込・お問合せ先

(NPO法人)沖縄NGOセンター (担当: 永田)

〒901-2211 宜野湾市宜野湾3-23-52 1F

TEL: 098-892-4758 FAX: 098-892-9908

Email: onc@oki-ngo.org URL: <http://www.oki-ngo.org/>

